

上智大学

二〇二一年度一般選抜（学部学科試験・共通テスト併用型）

学部学科試験サンプル問題

文学部 ドイツ文学科

【学部学科試験名】 ドイツ語圏の文化・歴史に関するテキストの読解力および思考力・表現力を問う試験

【試験時間】 七五分

【出題の意図、求める力等】

■学部学科独自試験の出題の意図・ねらい

日本語の文章の読解力および思考力・表現力を問う。ドイツ語圏の地理、文化や歴史についての基本的な知識を問う。
また、本サンプル問題は、試験時間分の1セット分ではなく、その一部の問題例です。

※サンプル問題の出題形式は例であり、問題数は本試験と異なる場合があります。

一 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

先日、ベルリンの日本大使館のホールに宮城道雄の『春の海』の美しいメロディーが響いた。お琴の演奏ではなく、日下紗矢子（二〇〇八年からベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団のコンサートマスター）のヴァイオリン演奏だったが、このメロディーを耳にして私は久しぶりに日本への郷愁を覚えた。短い時間だったが、昔の日本のお正月の雰囲気をととても懐かしく思い出したのだ。そのあとに続いた「ベートーベンの『春のソナタ』もすばらしかった。

（二〇一一年）一月一九日の夕方、日独交流一五〇周年のオープニング式典でのことだ。この式典には、記念行事のドイツ側の名誉総裁をつとめるヴルフ大統領が出席、「日独交流一五〇周年にあたる今年には、両国間の五世代にわたる²を想起する絶好のチャンスで、同じ価値観を共有する日本との特別の²を若い世代にも伝え、将来もこの関係が引き継がれることを希望する」と挨拶した。ドイツ側からは外相、経済相をはじめ、与野党の政治家が参加、日本の伴野外務副大臣や神余在独日本大使もそれぞれ両国の²を強調するスピーチを行なった。日独交流一五〇周年は、一八六一年一月二四日（万延元年一月二四日）に当時のプロイセンのオイレンブルク侯を長とする使節団と江戸の幕府とのあいだに日普修好通商条約が結ばれたことを基準としている。³その頃ドイツはまだ統一されておらず（…中略…）、はじめはプロイセンとの単独条約にすぎなかった。日独の国家間の本格的な交流は、統一ドイツ誕生後、あるいは日本の明治維新（一八六八年）後に始まったと見られている。

ドイツ側がこの日独交流一五〇周年を真剣に考えていることは、ドイツ連邦議会で一月二七日、「独日外交関係一五〇周年の決議」が採択されたことにも表われている。三ページからなる長い決議文はまず一五〇年の両国関係の歴史を振り返ったあと、両国間の信頼醸成と良好なパートナーシップを維持するために青少年交流の重要性が強調され、青少年交流調整官を設けることや特別奨学金の給付などを提案、また、ドイツ連邦議会は日本の国会とのコンタクトを強め、経験の相互交換など関係拡大に努めることなどがうたわれている。最後は、二一世紀初頭の日本とドイツ両国の関係はかつてないほど良好で、共通の利益とグローバルな責任を果たす共通の義務を負っているとしたうえで、輝かしい成功の歴史である一五〇年の独日関係を継続させる意志を強調して決議文は終わっている。

この決議の冒頭では「日本とドイツは人権、法治国家、民主主義と自由、市場経済秩序などの共通の価値観で強く結ばれている」と強調されているが、記念式典での政治家たちの挨拶でも必ずといっていいほど日独両国は同じ価値観を共有していることが強調された。たしかにそういう部分もあるのだが、その決まり文句のような言葉を聞きながら、私は複雑な気持ちになった。というのもちょうどそのころ、「4」と思うことが重なったからだ。それは「過去の負の遺産」に向き合う態度の日独の相違である。日独外交関係一五〇周年の決議が採択された一月二七日の午前中、同じ連邦議会でホロコーストの犠牲者を悼む記念式典が行なわれ、⁵オランダのシンテイ・ロマの代表、ツオニ・ヴァイス氏がドイツ語で感動的なスピーチをした。ヴァイス一家はナチに占領されたオランダの小さな町で一九四四年に逮捕され、当時七歳だったヴァイス氏だけが生きのびることができたという。ソ連軍によって⁶強

制収容所が解放されたのが一九四五年一月二七日で、その一月二七日はドイツでは一九九六年以降、「ナチの犠牲者を追悼する日」となっている。

ヴルフ大統領はこの日 **6** で行なわれた公式記念式典に、**ポーランド**のコモロフスキー大統領とともに出席、ドイツの大統領として初めてスピーチをした。大統領は、「8」と強調した。また、旧東ヨーロッパ諸国の強制労働者への個人的補償のために設立された「記憶・責任・未来」財団が、金銭的な補償を終えたあと、犠牲者の精神的な償いを意図して企画した特別展示「強制労働」展は、一月三〇日、ベルリンでの展示を成功裡に終え、今後はワルシャワやモスクワなど各地で巡回展示される（展示そのものも、かつての占領地の図書館や学者と協力して作成）。さらにベルリンの歴史博物館で去年一月から行なわれている展示「ヒトラーとドイツ人」展は、訪れる人が多いため、二月末まで延長された。このようにいろいろな面から過去に向き合い、歴史的な責任を重層的に考える努力を続けるドイツと、アジアでの「従軍慰安婦」や強制連行の問題など、負の過去から目をそむける日本は、本当に同じ価値観を共有しているといえるのだろうかと考えてしまった。

出典 永井 潤子『放送記者、ドイツに生きる』（未来社二〇一三年一四九〜一五二頁）「一部改変」

問一 傍線1ベートーベンと活躍の時期が異なる人物を選びなさい。

- ① ニーチェ
- ② ゲーテ
- ③ フィヒテ
- ④ グリム兄弟

問二 **2** には三箇所とも同じ言葉が入る。最もふさわしいものを選びなさい。

- ① 友好関係
- ② 共通性
- ③ 文化協力
- ④ 相互的義務

問三 傍線3「その頃ドイツはまだ統一されておらず」とあるが、統一ドイツの誕生について、() 内の三つの言葉を用いて六〇字〜七〇字で説明しなさい。

(領邦国家、普仏戦争、プロイセン)

問四 「4」には著者の疑念の言葉が入る。最もふさわしいものを選びなさい。

- ① 「果たして日本政府にこの価値観は存在するだろうか」
- ② 「果たして連邦議会は日独の相違を理解しているだろうか」
- ③ 「果たして日独外交関係は緊密さを維持しているだろうか」
- ④ 「果たして日本の政治家は決議を具体化できるだろうか」

問五 シンティ・ロマとは、ナチス政権下でユダヤ人と同様に厳しい迫害を受けたドイツ語圏内の少数民族である。傍線5、ドイツ連邦議会でオランダのシンティ・ロマの代表者がドイツ語で演説したことを、著者はなぜ「感動的なスピーチ」と評価したのか、四〇字以内で答えよ。

問六 6には二箇所とも同じ地名が入る。それを答えなさい。

問七 傍線7ポーランドと同様、現在のドイツ連邦共和国と国境を接する国のみからなる組み合わせを選びなさい。

- ① オーストリアーチェコーベルギー
- ② ハンガリー スイスーデンマーク
- ③ イタリアーオランダールクセンブルク
- ④ フランスーポーランドーセルビア

問八 「8」には、記念式典でのヴルフ大統領のスピーチが入る。その内容として最もふさわしいものを選びなさい。

- ① ホロコーストの犠牲者を追悼し、起こったことを永久に忘れないようにする責任、こういうことが二度と起こらないようにする義務をドイツ人は負っている
- ② 「記憶・責任・未来」財団の活動と共に、関係する諸国の青少年交流を推進することがドイツの責務である。
- ③ ドイツは、オランダや日本との文化的、経済的協力関係をさらに推進することによって、世界の平和的秩序の構築を実現しなければならない
- ④ ドイツは今でも、ホロコーストの遺族に対する経済的かつ精神的な支援を継続する義務をもっている

【解答(例)】

□

問一 ①

問二 ①

問三 解答例…

ドイツはいくつもの**領邦国家**に分かれていたが、一八七二年、**普仏戦争**の勝利の結果、**プロイセン**を中心としたドイツ帝国に統一された。

問四 ①

問五 解答例…

母語ではなく自民族を迫害した国の言葉を用いて、ホロコーストの犠牲者を悼んだから。

問六 アウシュヴィッツ

問七 ①

問八 ①